

※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

フォーラム終了後のお願いについて

(木村) それでは、この後、少し皆さんにお願いしたいことがあるので、サブファシリテーターの方、各グループの参加者に配布物をお願いします。

中味を開けていただきますと、一番上に「エネルギーと原子力に関するアンケート」という冊子が入っていると思います。こちらは後で土田さんからご説明いたします。

次が、「フォーラムインタビューご協力のお願い」というものです。A3 の紙が半分に折りたたんであって、その間に1枚紙が挟んであると思います。

次に、シンポジウムをやるという話を前回の最後にしたと思いますけれども、そのシンポジウムの案をご用意しました。裏面に、ご協力をお願いしたいということが書いてあって、そちらはまた後ほどご説明いたします。それと、関連する資料で、A4 が半分に切られている紙が2枚入っていると思います。

その他には、小さめの茶封筒が1枚入っていると思いますが、いかがでしょうか？

それでは、まずはアンケートに関して、土田さんから一言お願いします。

(土田) はい。このアンケートですけれども、今日は開かないでください。必ずうちに帰ってから、といいますか、このフォーラムの場から離れて、1人になったときというか、日常生活に戻ったときに、書いていただければと思っています。ただ、あまり戻りすぎても困りますので、7月28日の日曜日までにご投函くださいと書いています。翌日の月曜日の朝の集配に間に合うようにしてくださいというような意味合いですが、あまり長くなるといけませんので、今日うちに帰ってから1週間以内ぐらいに書いて、その茶封筒に入れて、戻していただければと思います。

毎回答えてもらっているアンケートも、このアンケートもそうなのですが、皆さんに記名で書いてもらっていますが、匿名性は守っています。返信の宛先はパブリック・アウトリーチになっていますが、開封せずに私のところに転送されてきますので、誰が何を答えたかということは、かなり厳密に守秘していますので、それは大丈夫なんだという形で、ご自由にお書きください。以上です。

(木村) ありがとうございます。そういうことで、アンケートは、一式が入っていた大きい封筒に入れて、返送していただければ、我々の事務局に届くということになりますので、そのように対応いただければと思います。

それでは、次のお願いです。すみません、お願いがたくさんありすぎて恐縮なのですが。

次は、フォーラムインタビューのご協力のお願いということです。先ほどもお話ししましたけれども、しっかりと学問的に分析をしたいと思って、企画しているものです。アンケートでもいろいろなことをお聞きしているのですけれども、特に詳しく聞いておきたいところをインタビューでお聞きすることになりますので、ご協力をお願いしたいと思います。

これを開いていただくと、インタビューについての簡単な注意点がありますので、こちらを少し読ませていただきたいと思います

フォーラムインタビューについて。

フォーラムインタビューは個別に行います。

インタビュアーは、私と他2名が担当します。おそらく、そのうちの2名だと思います。もしかしたらインタビュアーが3名のときもあるかもしれません。そういう体制でインタビューをしたいと思います。

フォーラムインタビューにかかる時間は1時間半～2時間程度を予定しています。

日程ですけれども、これから調整をいたします。ここに日程調整表が挟んでありますけれども、こちらは、今日お分かりでしたら、この後さっと埋めていただいて、受付に提出していただければと思います。後日でないとスケジュールが分からないという方は、ご自宅に帰って記入していただいて、ファクスしていただくか、もしくはメールがよろしいという方は、それを受付に言っていただければ、このファイルをメールでお送りしますので、そちらに記入して、返していただく。そういう形になります。これに基づいて調整をして、その後連絡をするということになります。

実施場所は、NPO法人パブリック・アウトリーチ、我々の事務所になります。根津駅から歩いて2分くらいのところということで、この冊子体の一番後ろのページに地図を載せましたので、こちらを参考にいただければと思います。

フォーラムに関わる謝金は5000円ということで、これを含めると計3万円ということになります。

インタビューでお聴きしたい内容は、右のページに書かれている項目になります。当日は、このインタビューガイドを基に、話を進めます。こちらのインタビューガイドは、アンケートでお聞きしている内容が含まれていますけれども、これらの内容は、特に私たちが重要だと考えているポイントですので、インタビューで重ねてお聞きしたいと思っています。申し訳ございませんけれども、ご協力いただければと思います。

また、フォーラムインタビューは、同意の上、録音させていただきます。録音したデータが公開されることはありません。

フォーラムインタビューの結果については、分析して、成果を公表しますが、個人情報特定される形での公開は一切ございません。

こちらの日程調整表のほうを見ていただきたいと思います。これは今日書いていただくか、後日、ファクス、メールということなのですけれども、ご都合のつかない箇所にバツをつけていただければと思います。日時は調整の上、できるだけ早く決める予定です。遅くと

も 1 週間ということで、ご連絡を事務局からさせていただきますので、よろしくお願ひします。

なお、研究の都合上、原則としては、前半が市民の方、後半が専門家の方という形でインタビューを進めていきたいと計画しておりますので、そのような連絡になると思ひますが、よろしくお願ひします。

ここで一旦、インタビューについてご質問があればお受けしたいと思ひますけれども、いかがでしょうか？

—— 日程の前半というのは、ここに 1 か月くらい書いてありますよね。その真ん中から上とか、そういうことですか？

(木村) だいたいそういうイメージです。

ただ、調整によっては、どうしても、という場合もあると思ひますので、一応全部埋めていただけると助かります。

他はよろしいでしょうか？

それでは、次のお話をさせていただきたいと思ひます。このフォーラムがどのように行なわれたかということ、どういう内容が話し合われたかということ、シンポジウムという形で一般公開をしようと思ひしております。このフォーラムは、マスメディア等に入れないように設定されているわけですが、シンポジウムは、むしろ、そういうところからの問い合わせを一気に受けるようなものにもなっているということです。

開催日は 9 月 16 日、月曜日の祝日、時間はフォーラムと同じ時間帯（13 時～16 時半）ということです。

場所は、東大の武田ホールの予定です。

目的としては、この「フォーラム」という取り組みの設計・実施状況・明らかになってきた課題などを、臨場感を持ちながら紹介して、学术界や一般社会への波及効果を期待すると。まだこれはこれから詰めるのですけれども、こういうところを期待して実施するシンポジウムということになります。

プログラムは細かくはご説明しませんが、ポイントとしては、14 時 20 分から 14 時 40 分で、「フォーラム参加者からのコメント」というものをいただきたいなど。「臨場感を持ちながら」ということで、我々としてお願ひしたいところです。

裏面ですけれども、「運営グループからのお願い」ということで、そういう意味で、シンポジウムにどなたか出席していただけないでしょうか、ということが書いてあります。市民側の参加者から 1～2 名、専門家側の参加者から 1～2 名ということをお願ひしたいのですが、いかがでしょうか、というのが、ここでのお話になります。

具体的に何をするのかというと、表面には「フォーラム参加者からのコメント」、各自 5

分程度と書いてあるのですけれども、そこで各自のご感想をお話いただくということ。それから、「会場からの質問に対する回答」という時間が1時間ほどあって、そこで登壇していただいて、もし必要があれば、質問に答えていただくと。そういうことをお願いしたいと考えています。

「フォーラム参加者からのコメント」は、以下の4点について、紹介ください。どう思うかでフォーラムに参加したか。フォーラムはどうだったか。良いところ、悪いところを含めてお話いただく。フォーラムに参加して、ご自身が気づいたこと。今後の研究に対する期待など。この4点を含めて、5分くらいのお話をしていただける方はいらっしゃいませんかということで、お願いをしたいということです。

こういう形のシンポジウムを考えているのですが、まずここで、お願いをしてもよろしいでしょうか、というところを確認したいのですが、いかがでしょうか？　こういう企画をやって、そこで皆さんが出るということが、いいかどうかということですね。

一番下に、注意点があります。シンポジウムはマスコミにも公開しますので、報道等でお名前が一般公開されてしまう可能性があるということも重々承知しています。また、マスコミからのぶら下がり取材もあると思いますので、こういうものに対してどう対応するかということも、一応運営グループとしても考えてはいるのですけれども、やはり公開がベースのシンポジウムですので、そこはあくまでもできる範囲になってしまうということはお承知おきください。という条件で、こういうことをお願いしているわけですが、この方向で進めても大丈夫でしょうか？

はい。ありがとうございます。本当は、沈黙はイエスではないということは重々承知しながらも、そのように進めていこうと思います。

そこで、出席者の決定なのですけれども、このA4を半分に切った紙2枚は、そのために用意したものです。1枚目は、「シンポジウムへの出席者の推薦」です。市民参加者、専門家参加者で、自薦・他薦を問いません。苗字だけで構いません。2名をそれぞれ書いて、縦に半分に折っておいてください。

もう1枚は、「シンポジウムへのご協力の可否」ということで、こちらは、ご自身がもし推薦された場合に、それを受けるかどうかということです。マスメディアが来るし、名前が出るのは嫌だとか、そういうことがあれば、遠慮しますというほうにチェックをしていただいて、大丈夫であれば、構いませんというほうにチェックをしてください。

これらを別々に回収いたします。で、今日はこれを開票しません。皆さんから回収したら、封をして、今日は開票しません。というのは、アンケートなどにこれが影響する可能性もあるので、今日は決定しないのですけれども、これを見て、推薦の多い順に、参加してよいと回答してくれた方2名を、原則としてお願いしたいと思っていますので、よろしくお願ひします。決まりましたら、また事務局のほうから個別にお話をさせていただきます。

そして、さらに、先ほど記入していただいたアンケートがありました。Q4は後で書いてくださいとお願いしていたものですが、

例えば、2名、2名で4名が決まったとして、その他の人たちの意見はどうするのですか、ということに関して、シンポジウムで話してほしいコメントは、ぜひこのQ4のところに今日書いて、そして小さいほうの茶封筒に封をして提出してください。当日、司会のほうで、こういう意見が来ていますということで、個人名は伏せた状態でお話をする、という形式にしたいと思っています。そのように対応したいと思います。

ということで、以上がシンポジウムのお願いでした。それでは、推薦と可否に関しては、今、回収したいと思いますので、書いていただければと思います。時間が延長してしまって、申し訳ありません。

(総合 F) はい。今日、必ず書いて出していただきたいのは、この推薦と可否のことと、今日のアンケートです。この2つは、今日中に出していただきたいものです。これに関して、数分時間を取りますので、書いていただければと思います。

そして、インタビューの日程調整表は、今日出せる方はぜひ出してください。ご無理という方は、ファクスかメールということでお願いいたします。いろいろなものがありますので、申し訳ありません。数分時間を取りますので、よろしく願いいたします。

(記入、投票)

(総合 F) とりあえずご投票は終わったようで、ありがとうございます。

今いろいろとご説明したことに質問がある方は、この後もスタッフが残っておりますので、いろいろ質問していただければと思います。

それでは、5回の区切りということで、最後の挨拶を、もう1回木村さんにしていただこうと思います。よろしく願いいたします。

(木村) 最後の挨拶ということで、もう言うことは尽きたのですが、我々としても、皆さんにこんなにご協力いただいて、その成果をしっかりといろいろなところに活かしていきたいと思っています。本当に5回も、皆さんにご協力いただいて、大変感謝しております。どうもありがとうございました。

また、続きがございましたので、こちらにもご協力いただければと思います。またよろしく願いいたします。どうもありがとうございました。(拍手)

<第5回フォーラム終了>